慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	政党・政府・政治運動が中国語に与える影響について
Sub Title	The influence of parties, governments and political movements on the Chinese language
Author	羅, 奇祥(Luo, Qi-xiang)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2002
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 言語・文化・コミュニケーション No.28 (2002. 4) ,p.33- 55
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032394-20020411-0033

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

政党・政府・政治運動が中国語に与える影響について

羅　奇　祥

はじめに

言葉は社会の変化・発展につれて変わり，新しいもの・考えなどが出現したら，それに対応する新しい言葉が生まれ，一方でそれに適応できなくなった言葉や言葉の使い方が消えていく。中国語も例外なく，このように絶えず変わってきた。

中国の長い歴史の中に漢民族が使う言葉に変化が起きた時期がいくつかあったが，中華人民共和国成立後（以下，成立後と略す）から20世紀末までの変化ほど，激しくはなかった。特に成立後から1960年代の半ばまでの変化は著しい。成立後から50数年経た今の中国語はどう変わったか，1940年代の北京・上海の新聞と最近の新聞を見比べれば，一目瞭然である。（図版１～４）

図版１　「北平日報」＊中華民国35年８月15日

銀行經理
經濟困難
銀幣兌換問題
眼睛半睜半閉

同リライト

銀行經理經濟困難

銀幣兑換問題　　眼睛半睜半閉

【本報專訪】民國二十四年十一月四日，我國實行法幣政策，財政部命令:銀幣禁止流通，但可平價與法幣平價兑換,然而仍有一部分的銀元留藏到民間。抗戰軍興法幣逐漸膨脹，脱離了貨幣本位的銀元逐成爲商品的一種,一元現洋的價格相當於一元法幣的十幾倍，幾十倍，乃至於千餘倍，這並不是銀幣上漲而是法幣購買力的低下。

十幾天之前,財政部重申禁止銀硬幣私相售受的法令，此令一下，胆小的人爭相抛出手頭的存貨，急遽的壓低了銀元的暗盤價格，個中老手卻趁機扒進，很撈了一票大錢。到今天銀元暗盤價格仍舊盤旋在千元上下,不是在袖籠裏成交,就是偷偷的化成了銀條，治安機關的眼睛半睜半閉，持有銀元的人也做定了「油匠的葫蘆。」記者以此問題訪問了中央銀行經理俞丹榴氐。

「中國的老百姓也實在太窮，明知道吃虧，自然没人肯來兑換」俞經理明眼觀火，看清了這一條法令的可能性，「行政處分由治安機關負責，没收充公的銀元歸於國庫」一但是國庫裏增加了幾許銀元呢?中央的法令不曾兼顧事實，治安機關如果認真的辦理,那無異是老百姓一筆不小的損失，「怪只怪爲什麼一般人不早在廿四年十一月四日的法令頒布之後立刻去兑換!」俞經理如此答覆了這個問題。「現在的生活實在不得了」俞經理轉了話題，「有人攻擊中紡，四行的職員的薪津太高，實際説起來，並不是我們拿的太多，而是一般人賺的太少，朋友要應酬，孩子要上學，就是我自己也感到經濟的威脅」一國家銀行的經理感到了「經濟的威脅」，一般老百姓吃不飽也就不是偶然的了。

＊1946年８月15日創刊。元「北平晚報」。

図版２「申報」＊中華民国38年５月27日

美與十數國家
協商共同政策
討論承認我國新政府

〔路透社華盛頓廿五日電〕代理國務卿喜勃今日證實，美國已曾與「約十二個」的其他國家，就擬具對中共問政策的問題，從事協商，但渠又聲明：「本人不擬稱此項協商爲必然的趨向承認（承認中共政府）的協商，我們對於這個局勢，一齊在審慎的注視中，並正企圖按照局勢的發展覓取最好的應付方法」，渠透露曾與美國就此一問題磋商的國家包括，英・法・荷・比・澳・印度・巴基斯坦・紐西蘭・錫蘭・南非等。

羅塞爾演說
支持國民黨乃下策

〔聯合社舊金山廿五日電〕國務院公務處長羅塞爾，今日在「世界貿易週」宴會席上發表演說稱，美國如擬支持中國國民黨政府，實爲極愚笨之下策，其意暗示逃與共產黨政權相立關係。羅氏稱：中國人民不喜外國人，惟無論如何，需要大批食物及機器等工業配合，國民黨已等台，如欲加以支持，必須運用美國兵力及更大之財政經濟援助，此舉無異欲將中國人民全不信任之政府强制其服從，勢惟有更引起中國人民之反感。中國內戰中，國民黨軍每大大戰無不具有優勢火力，且有空軍，惟仍相率不戰而降，其唯一原因即在國民黨政府已失去中國人民之信任。

同リライト

美與十數國家協商共同政策

討論承認我國新政府

〔路透社華盛頓廿五日電〕代理國務卿韋勃今日證實，美國已曾與「約十二個」的其他國家，就擬具對中共共同政策的問題，從事協商，但渠又聲明:「本人不擬稱此項協商爲必然的趨向承認(承認中共政府)的協商，我們對於這個局勢，一起在審慎的注視中，並正企圖按照局勢的發展員取最好的應付方法」，渠透露曾與美國就此一問題磋商的國家包括，英・法・荷・比・澳・印度・巴基斯坦・鈕西蘭・錫蘭・南非等。

羅塞爾演説

支持國民黨乃下策

〔聯合社舊金山廿五日電〕國務院公務處長羅塞爾，今日在「世界貿易週」宴會席上發表演説稱，美國如擬支持中國國民黨政府，實爲極愚笨之下策，其意暗示速與共産黨政權樹立關係。羅氏稱:中國人民不喜外國人，惟無論如何，需要大批食物及機器等工業配合，國民黨已垮台，如欲加以支持，必須運用美國兵力及更大之財政經濟援助，此舉無異欲將中國人民全不信任之政府强制其服從，勢惟有更引起中國人民之反感。中國内戰中，國民黨軍每次大戰無不具有優勢火力，且有空軍，惟仍相率不戰而降，其唯一原因即在國民黨政府已失去中國人民之信任。

＊清同治11年（1872）４月30日上海で創刊。1949年５月28日休刊。

図版 3「北京晚報」

＊2001年５月31日

房价跌落难成现实

本报讯（记者李海霞）从明天起，《北京市商品住宅销售价格构成管理办法》开始执行。

该《办法》明确规定，一些原有的费用被剔出成品房成本，使人们期待北京房价会有所回落。

有关政府部门负责人和业内专家认为，该《办法》出台，将大大加强房地产开发中收费项目的透明度，监督和促进房地产开发企业规范操作，使商品房价格逐步趋于合理。但由于商品房价格是受土地出让成本、拆迁成本、建安成本、市场供求等多方面因素影响，而且这些因素都具有很强的不确定性，因此，该《办法》的出台这一单一因素很难左右本市商品房价格。认为该《办法》的出台能使商品房房价回落是一种误解。 D155

＊1958年３月創刊。

図版 4「新民晚報」＊2001年５月27日

黄菊会见西藏自治区主席列确时表示

上海将继续做好援藏工作

本报讯 中共中央政治局委员、上海市委书记黄菊前天下午在虹桥迎宾馆会见了前来上海参加《雪域藏珍——西藏文物精华展》开幕活动的西藏自治区主席列确、副主席次仁卓嘎一行。

会见时，黄菊首先对列确同志一行在庆祝西藏和平解放50周年之际来上海访问表示热烈欢迎，对给上海人民带来西藏精美绝伦的文物艺术珍品表示感谢。黄菊说，西藏和平解放50周年、特别是中央第三次援藏工作会议以来，经济快速发展，人民物质文化生活不断提高，社会事业全面进步，西藏人民对维护祖国统一、促进民族团结作出了巨大贡献。东海之滨的上海与雪域高原的西藏联系密切，经济合作、文化交流活跃，尤其是前后两批援藏干部得到了西藏各级党政领导和人民在政治、工作、生活等方面的关心、爱护和支持，使他们得到锻炼和提高。进入新世纪，在党中央的领导下，上海将一如既往地加强与西藏的交流与合作，继续做好援藏工作，为西藏的繁荣和发展作出上海应有的贡献，共创两地美好的未来。

列确在讲话中说，西藏的发展和变化，离不开党中央和中央政府的关怀、全国各省市区的大力支持。上海与西藏关系不一般，联系很密切。

西藏和平解放以来，上海在物质、资金、人才等方面给予了很大支持，尤其是援藏干部工作出色，为西藏建设与发展作出了贡献。西藏人民忘不了上海人民的一贯支持。西藏是祖国不可分割的一部分。

市委副书记罗世谦等参加了会见。

＊1929年９月９日南京で創刊。元は「新民報」であったが，1958年４月「新民晚報」の名に変えた。

1949年代の新聞は現在の新聞と比べると，次の特徴を有する。

1．難しい繁体字が用いられている。

2．書式が次のようになっている。

⑴段落の始めに２文字分の空きがない。

⑵全部縦組で段落が少ない。

3．区切り符号とその使い方が次のようになっている。

⑴現在の新聞にない符号「「」」，「―」が用いられている。現在「「」」に相当する符号は縦組の場合「『』」を，横組の場合「“ ”」，「‘ ’」を用いる。

⑵「。」，「，」などの区切り符号は行尾の中間につけてあり，種類も少ない。

⑶現在句点を使うべき箇所にコンマを用いたり，区切り符号を使うべき箇所に用いなかったりする。

⑷現在「、」を使う箇所に「・」を用いている。

4．リライトの文中，私が「・」を付した単語は現在使わない。

5．「△」を付した言葉の使い方は現在あまり行わない。

万物は流転する。50年以上も経たので，言葉が変わるのは当然であると言われる。また，一部の著書では成立後から60年代半ばまでの10数年の間，中国語が特に大きく変わったのは社会制度の変更と人々の思想変化でもたらした自然な流れであると述べられている。しかし，私は50数年来，中国語がこのように大きく変わった一番大きな要因は政党・政府の直接関与と次々に起きた政治運動（キャンペーン）の強い影響があったからであると思う。つまりその変化は従来の自然的な流れではなく，極めて人為的なものであると考える。本稿では成立後の50数年の間，中国語は政党・政府・政治運動からどのように影響されてきたか，どう変化させられたか，またなぜ政党・政府・政治運動が中国語を大変貌させ得たか，及びその結果のプラス・マイナスの両面はいかなるものであるか，などについて，三つの時期に分けて考察していきたい。なお，本稿で言う「政党」は中国共産党を指す。

本稿で取り上げる政治事件や，共産党の動きなどは，中国研究者の知るところではあるが，拙稿の題名を論じるには欠くことのできないものであるから，ここでは敢えて述べさせてもらう。

第1章　成立後から文化大革命（以下，文革と略す）発生まで

（1949年10月～1966年4月）

1949年10月1日，毛沢東は北京で中華人民共和国の成立を宣言した。中国共産党は28年間の不撓不屈の戦いを経，多大の犠牲を払って，ついに自らの一党独裁の政権を手にした。同年12月，第三次国内戦争で共産党軍に敗れた国民党軍と国民政府は台湾島に逃れた。1951年5月23日，中央政府代表とチベット地方政府代表によって「中央人民政府とチベット地方政府とによるチベットの平和解放の方法についての協議」が調印されたことで，共産党政権は台湾・香港・マカオ以外の全国土を制圧した。

第1節　共産党・政府の動き

(1)　新聞・雑誌・ラジオ放送などの整備・廃合

成立後，共産党・政府は共産党政権を強化するため，また国民に共産党の政策・方針を宣伝し，共産党と共に行動させるために，直ちに新聞・ラジオ放送・雑誌などのマスメ

ディアの整備・廃合に乗り出した。その具体的内容は以下の通りである。

① すみやかに各地の国民党政府経営のラジオ放送局を接収し，政府側の責任者を送り込む。私営のラジオ局に対して政府から投資や役員派遣を行い，経営に関与する，いわゆる「公私合営」の方式を採る。

② 新聞・雑誌に対してもラジオ放送局と同じように整備し，また共産党系のものを大量に創刊する。1950年２月，全国の新聞は274種があり，中に私営55種があったが，1958年になると，1,766種に増え，私営のものは完全に消えた。雑誌も新聞と同様，1950年の295種から1958年の822種に増え，私営のものも残らなかった。

(2) 各種の政治運動を起こす。

成立後から1966年４月までのおよそ17年間の間，共産党と政府は毛沢東の「継続革命」の理論に基づいて，また新生政権を強化するため，次々に政治運動を起こした。これら一連の政治運動は中国語を変貌させた要因の一つになっている（後述）。以下に一連の政治運動について概略を説明する。

① 成立後，共産党が政権を握ったが，全国に国民党軍の残部，国民党のスパイ，土匪などが数多く残り，全国で暴動・強盗・殺人などの凶悪事件が多発していた。1950年初頭，北方の多くの地域で発生した飢饉に朝鮮戦争の勃発が加わり，中国は一時混乱に陥った。1950年７月23日，政権維持と治安維持の必要性から中国政務院（中央政府，現国務院）と最高人民法院（裁判所）は「反革命的活動を取り締まることに関する指示」という布告を発表して全国規模の「鎮反運動」を開始した。共産党と政府は国民に進んで反革命行為を訴え出，反革命分子を摘発し，反革命分子の逮捕に協力するよう呼びかけた。当時新聞では1951年上半期，全国80％の国民が「鎮反運動」に参加したと報じた。共産党が呼びかけ，指導して，全国民が参加するという中国の政治運動の決まったやり方は「鎮反運動」から始まった。全体主義的国家であるとのイメージもその時から持たれるようになったと言えよう。「鎮反運動」は1952年末まで続いた。

② 1950年６月25日，朝鮮戦争が勃発。同年10月８日中国人民革命軍事委員会主席毛沢東は「中国人民志願軍」を朝鮮戦争に出動させる命令を下し，19日志願軍18個師団が中朝国境線の鴨緑江を越え，中国は正式に参戦した。同時に共産党と政府の呼びかけで中国全土で「抗美援朝運動」（米国に抵抗し，北朝鮮を援助する運動）が1953年７月27日の朝鮮戦争停戦まで繰り広げられた。

③ 「鎮反」，「抗美援朝」運動の最中に，1951年12月１日，中国共産党中央委員会は「人

員を減らし機構を簡素化し，増産・節約，汚職・浪費・官僚主義に反対することに関する決定」を発表して，共産党員と政府機関の従業員対象の「三反運動」を始めた。続いて1952年1月26日「都市で期限ある，大規模な，徹底した『五反』闘争を行うことに関する指示」を発表して工業・商業の個人経営者対象の「五反運動」も開始した。「五反」は賄賂，脱税，国家財産の窃盗，手間を抜き材料をごまかすこと，国家経済情報の窃取の五行為に断固反対する意味である。歴史上これらの二つの運動は「三反・五反運動」と呼ばれ，約7か月続けられて，52年6月末に終了した。

上述の①，②，③の「運動」が繰り広げられている間，「核兵器無条件禁止を訴える一億人平和サイン運動」，「共産党・解放軍の思想と活動態度を整頓する運動」，「映画『武訓伝』に対する批判運動」などの小規模な政治運動も行われていた。これら一連の運動を通じて，中国人はすっかり政治運動に慣れてきたようである。

④　朝鮮戦争終結後から1966年4月まで，他の政治運動も次々に繰り広げられ，驚くほどの数にのぼった。全国規模の運動には次のようなものがある。

ア.「整風（作風を整える）運動」（1957年4月～1958年7月）。共産党員が対象。

イ.「反右派闘争」（1957年6月～1958年7月）。期間中，合計439,305人の右派分子が摘発された。

ウ.「人民公社化運動」（1958年3月～同年10月）

エ.「大躍進（生産スピードを大いに高める）運動」（1958年5月～）

オ.「反右傾化運動」（1959年8月～）。共産党・軍が対象。

カ.「雷鋒に学ぼう運動」（1963年3月～）。雷鋒は人民解放軍の兵士で，1962年8月15日殉職。

キ.「四清（帳簿・在庫品・財産・労働点数を徹底的に整理する）運動」（1963年5月～1966年6月）。農村と町の一部企業が対象。別名「社会主義教育運動」。

小規模な政治運動には次のようなものがある。

ア.「技術革新運動」（1954年4月～）

イ.「『紅楼夢』研究でのブルジョアジー的唯心論傾向に対する批判」（1954年10月～）

ウ.「胡適思想に対する批判」（1954年11月～）。胡適（在世1891年12月17日～1962年2月24日）は思想家，元北京大学学長。

エ.「胡風文芸思想に対する批判」（1955年1月～）。胡風（在世1902年11月1日～1985年6月8日）は詩人・文芸評論家。

オ.「高崗・饒漱石反党同盟に対する批判」（1955年3月～）

カ.「反革命分子粛清運動」(1955年7月～1957年10月)

キ.「農村での大規模な社会主義教育運動」(1957年8月～)

ク.「除四害・講衛生(蠅・蚊・鼠・雀を消滅し,衛生を重んじる)運動」(1958年2月～)

ケ.「馬寅初の人口論に対する批判」(1958年5月～)

コ.「全民製鋼・製鉄運動」(1958年8月～)

サ.「憶苦思甜(解放前の苦しみを思い起こし,解放後の幸せをかみ締める)運動」(1960年11月～)

シ.「毛沢東著作の学習運動」(1961年1月～)

ス.「王傑に学ぼう運動」(1965年11月～)。王傑は解放軍兵士で,1965年7月殉職。

セ.「京劇『海瑞罷官』に対する批判」(1965年11月～)

ソ.「焦裕禄に学ぼう運動」(1966年2月～)。焦裕禄は共産党河南省蘭考県委員会書記。

(3) 中国語の改革に乗り出す

中華人民共和国成立前(以下,成立前と略す),中国語の文字・発音・語音表記が規範化されていなかった。成立後,共産党の政策宣伝の必要性から,また政府主導の大規模な経済活動を行うために,言葉を規範化しなければならなかった。それゆえ,政府は直ちに「共通語の普及」,「漢字の簡略化」,「『漢語拼音方案』の制定と推進」の三つの面で中国語の改革に着手した。

① 「中国文字改革委員会」の発足

中華人民共和国成立後の1949年10月10日に中国政府は「中国文字改革委員会」を発足させた。この「中国文字改革委員会」は上述三つの面の改革の全てに係わった。

② 印刷物の横組への統一

1955年1月1日「光明日報」は率先して横組に変更した。その後横組の新聞が増え,1956年1月1日に全国すべての新聞が横組主体になった。(図版5, 6)

図版 5「人民日報」1955年12月31日

人民日報

一九五五年十二月三十一日内容提要

★重工業部各企業行政領導幹部和工会主席联席会議制定提前完成五年計劃的基本措施
★全國第五次手工業生產合作会議確定兩年基本完成手工業合作化
★社論：積極開展对手工業的社会主义改造工作
★國务院關於防止滥宰耕牛知保護發展耕牛的指示 （以上一版）
★李零石：我們提前修通了渠二鉄路
★何成：按照民主集中的原則管理合作社的事情
★周慧之：振奋人心的七年远景規劃 （以上二版）
★侯外廬：司馬遷著作中的思想性和人民性
★尼・吉洪諾夫：新年前夕 （以上三版）
★观察家的評論：应当讓在美國的中國留学生立即回國
★苏联最高苏維埃会議閉幕
★我國留美学生家屬的來信 （以上四版）

北京郵電局登記認可第三号
定價：零售每份六分 每月一元八角
電話號碼：(5)0878 電報號碼：3838
訂閱处：全國各地郵局

第二七三一号
今日共四版
四日前出二版三十五分鐘印八版三十六分印完

地址：北京王府井大街一一七号
電話 中央總機(5)6361 發行各部門 (5)6666 廣告部電話(5)972 編輯部(5)4646 廣告部電話(5)4696 發行部(5)7508

重工業部明年將推廣幾十种先進技術經驗

重工業部各企業行政和工会領導幹部会議
制定提前完成五年計劃的措施
並確定明年大力開展廠际同工种競賽

重工業部計劃在一九五六年後，可使企業的產量增加幾十倍。机械部門計劃發展鋼鉄的產量增加幾十倍。在一九五六年中推廣幾十种先進技術經驗。

新華社三十日訊 重工業部三十日在北京召開了各企業行政和工会主席联席会議，研究了重工業部提前完成第一个五年計劃的基本措施。

二十九日閉幕的重工業部行政和工会主席联席会議，是在国家計劃委員会領導幹部和工会主席联席会議前召開的。

重工業部各企業

図版 6「人民日報」1956年１月１日

人民日報

今日本报内容提要

社論：为全面地提早完成和超額完成五年計划而奋斗
为提早完成五年計划而奋斗（專欄）
布尔加寧答英國記者問。（以上一版）
刘九峯：我們要提前一年完成五年計划。
焦福兴：幸福的日子跟着新年来到了
盛丕華：放大眼光，努力学習，掌握自己的命运（以上二版）
吳玉章：中國文字改革的道路
華罗庚：一寸光陰一寸金（以上三版）
蘭中苏鉄路联运正式通車（四版）
布尔加寧在苏联最高苏維埃主席联席会議上關於訪問印度、緬甸和阿富汗的报告
赫魯晓夫在苏联最高苏維埃民族联席会議上的講話（以上五、六、七版）
为爭取提早完成第一个五年計划而奋斗（専刊）（八版）

1956年1月1日 星期日 農曆乙未年11月19日 6日小寒

第2732号 今日共八版

每份六分 每月一元八角 訂閱处：全國各地郵局

为提早完成五年計划而奋斗

天津拖拉机制造厂成立

1955年12月31日，由勝利天津汽車制配厂和公私合营亦范机器厂合併改組成的天津拖拉机制造厂正式成立。这个工厂將在1957年度出產第一批輕型拖拉机。

这兩个厂合併改組为拖拉机制造厂以后，現有的厂房、設备和人員將充分得到利用，部分拖拉机部件將和天津、北京、上海、武漢、沈陽等十多个地区的工業企業組織协作生產。

为使改建工作加快進行，國家設計部門曾派出大批設計人員來到現場搜集設計資料和進行初步設計。部分原备改建的工作人員还回天津、北京等地的工厂企業商洽了协作生產的問題。（据新華社訊）

去年石油生產計划完成

石油工業系統已經提前完成1955年煤炭和生產計划。至12月25日止，煤炭方面，完成年計划產量的101.1%，同1954年比較，增加了96%。石油主要產品中已有六种提前完成計划，其中原油完成100.1%，汽油完成102.1%，煤油完成107.9%，柴油完成103.6%，潤滑油完成141.1%，硫酸完成104.2%。同时还試制成功41种新產品。石油工業总產值預計在年內完成109.8%，比1954年增長44.1%。

一年來，石油工業系統採用新技術，推廣先進經驗，改進設备，加强管理，对完成年計划起了保証作用。

1955年工業生產和基本建設有新成就

1955年——我國执行第一个五年計划的第三年，工業生產和基本建設都取得了新的成就。

在工業生產方面，1955年的总產值計划預計可以完成101%。七个工業部总產值預計完成計划10.41%。其中煤炭工業部为101.7%；电力工業部为107.5%；石油工業部为100.9%；重工業部为105.6%；第一机械工業部为107.8%；紡織工業部为100.9%；輕工業部为101.2%。

1955年的工業生產虽然受到1954年大水災害農業歉收，以致原料供应不足的影响，但是工業生產总值還不完全就計还比1954年增長54%。在46种主要產品中，預計有32种主要產品都完成和超額完成任务。根据國家社會主义建設的需要，各工業企業在1955年大量試制了新种类產品。如1350型万能磨床，1A62型車床，6,000匹火力發电机各套設备，40噸鍋爐，合金無縫鋼管，造船鋼板，31,500千伏安变压器等，都已試制成功。此外，今年廣泛开展的厉行節約运动，也取得顯著成效。

在基本建設方面，預計1955年基本建設总投資額可以完成計划94.9%。其中工業部門可以达到97.7%。煤炭、电力部門並可超額完成計划。

1955年建工的限額以上的重点工程，有通化石人七坑斜井，鶴岡鉱子河新九井斜井，鞍鋼五号高爐和四座煉焦爐，北京國营第二棉紡織厂等四个棉紡織厂，以及南關水車等。

在1955年基本建設的新增生產能力計划中，大連石油、平爐鋼、軋鋼等預計都完成計划。电力的新增生產能力，超額完成12,800瓩；輸煤生產能力，超額完成112,965吨。

汽車制造厂爭取今年提前出產汽車

第一汽車制造厂决定爭取提前完成第一个五年計划規定的任务，並要提前在1956年10月1日以前制造出一批汽車。

第一汽車制造厂已經提前八天完成1955年基本建設投資計划；1955年設备安裝工程和土木建筑工程計划都已提前完成。現在各厂的設备投資計划已經完成80%以上。八个基本生產車間調整生產進行很順利。1955年12月24日，各厂已調整好908种零件。

現在，第一汽車制造厂正在採取有效措施，动員各体职工做好地質准备工作，保証施工較快的鉄工場和車身压制工場安裝工作的順利進行。职工們热烈开展劳动競賽，努力保証实現提早出產汽車的計划。

（本报駐長春記者）

蘭新路鋪軌到清水車站

蘭新鉄路已經在1955年12月27日鋪軌到清水車站。

蘭新鉄路1955年共鋪軌326公里多，接近1953年和1954年鋪軌里程的总和，超过國家計划138公里。

現在，蘭新鉄路已經向西延伸了676公里多，距离第一个五年計划規定的鋪軌終点——玉門以西的白洋河只剩下150多公里。蘭新鉄路在第一个五年計划內的鋪軌任务，可以在1956年提前完成。（本报駐蘭州記者）

江漢橋举行通車典礼

最近建成的武漢長江大橋重要組成部分之一的江漢橋，1955年12月31日举行了隆重的通車典礼。参加通車典礼的35輛結綵的新汽車，沿天上午第一次越过江漢橋，开到了古老的漢口。这个汽車隊給漢陽的國营武漢第一棉紡織厂运去了一批棉花；給武漢長江大桥工地和其他建筑工地运去了一部起重机和木材；給漢陽十多万居民运去了一批物資。（据新華社訊）

黑龍江積極發展高級社

黑龍江省根據農業合作化运动要求加快的新情况和群众的要求，修改了原來試办高級農業生產合作社的計划。修改后的計划要求：在1956年要新開建或擴充个高級社，加入高級社的社員將达到全省農戶总数的15%左右。（据新華社訊）

③　共通語の普及

中国には1955年まで正式な定義の共通語はなかった。そのため1955年10月，中華人民共和国教育部と中国文字改革委員会が共同主催で「全国文字改革会議」を開き，中国の共通語は「普通話」と名づけ，また普通話は「北京語音を標準音とし，北方語を基礎方言とし，模範的な現代白話文の著作を文法規範とする漢民族の共通語」と定義した。翌年１月28日，国務院は「国務院が普通話普及についての指示」を公布し，２月に「中央普通話普及工作委員会」を発足させ，共通語の普及に乗り出した。そのため，まず普及に欠かせない発音の規範化に着手し，「普通話正音字表」（1958年６月，普通話語音研究班*編），「多

＊中国文字改革委員会，中華人民共和国教育部，中国科学院語言研究所で構成される。

音多義字匯編」（1962年10月，普通話語音研究班編），「普通話異読詞三次審音総表初稿」（1963年２月，中国科学院普通話審音委員会編），「普通話軽声詞匯編」（1963年８月，普通話語音研究班編）などを次々に発表させ，「兒化韻」の規範化にも力を入れた。

④　漢字の簡略化

共産党と政府は漢字字数の節減と漢字筆画数の減少の両面から漢字の簡略化に取り掛かった。

ア．1955年12月22日，中華人民共和国文化部と文字改革委員会が「第一批異体字整理表」を発表し，異体字を1,053字淘汰した。1977年７月20日，文字改革委員会と国家標準計量総局が「一部の計量単位名称の統一用字に関する通達」を発表し，「呎」・「浬」などの計量単位を表す旧字体を20字淘汰した。また1955年３月から1964年８月まで，国務院の指示で地名に用いられる一部の日常使用しない漢字を常用字に替えて，15字淘汰した。

イ．1955年10月の「全国文字改革会議」で最終の「漢字簡化方案」を決定した。翌年１月28日の国務院第23回会議で通過した「国務院が『漢字簡化方案』公布に関する決議」で，「漢字簡化方案」は２月１日から三段階に分けて全国の新聞・雑誌・公文書などの印刷物と筆記文書に通用すると決めた。1964年５月，中国文字改革委員会は実施された「漢字簡化方案」の不十分なところを修正して，「簡化字総表」を制定し，公布した。1977年12月20日，中国文字改革委員会が「第二次漢字簡化方案（草案）」を公布して試用されたが，未熟な物が多く，1986年６月24日，国務院が使用中止を決めた。

ウ．政府はまた10年ぐらいの時間をかけて印刷用字形の規範化を図った。1965年１月に「印刷通用漢字字形表」の公布によってそのピリオドを打った。

⑤　「漢語拼音方案」の制定と推進

中国ではこれまで漢字の発音を表記するには，1918年11月23日に当時の政府教育部が公布した「注音字母」を使われていた。成立後，政府は中国文字改革委員会に漢語表音案の研究をするように指示，1955年２月，文字改革委員会は「拼音方案委員会」を設置し，主にローマ字式による漢語表音案の研究を行った。1956年２月９日，文字改革委員会は「漢語拼音方案（草案）」を発表。1957年10月，国務院の「漢語拼音方案審議委員会」により漢語拼音方案の修正草案を公布し，同11月１日に国務院第60回会議で同修正草案を通過させた。1958年２月11日全国人民代表大会第１回大会第５次会議で「漢語拼音方案」を可決したことによって，全国の各学校でその実施をスタートさせた。

第2節　言葉への影響と言葉の変化について

前述のように，共産党と政府は政権を維持し，全国民に共産党の意向を浸透させ，反対勢力を圧倒するために，政治運動を頻繁に引き起こした。また共産党と政府は，政策宣伝の必要性から，そしてまた政府主導の大規模な経済建設，「識字・掃盲（字を覚えさせ，文盲をなくそう）運動」をスムーズに推進し，毛沢東が1951年に出した「文字は改革しなければならず，世界の文字と共通の表音化に向かわなければならない」との指示を執行するために，一連の決議・指示を出して中国語の改革を断固実行した。以上の政治運動と共産党の意図とは10数年の間，中国語に大きな影響を与え，中国語を大きく変貌させた二つの要因である。1965年末になって，中国語への大規模な改革はほぼ終わり，いわゆる大陸（台湾・香港に対する）の現代中国語の形は基本的に形成された。わずか10数年間で言葉がこれほど変わったのは今まであまり見られなかった。次に中国語は二つの要因からどう影響され，どう変わったかについて見てみよう。

(1)　書式における影響と変化

中国語改革の火蓋を切ったのは，印刷物を縦組から横組に変えることであった。1955年1月1日，政府関係部門の指導で「光明日報」は率先して横組に変えた。後短時間で全国の新聞・雑誌などの印刷物は全部横組が主体となった。またその時から学校教育でも左横書を採用し始め，封筒の宛先なども左横書が出始めた。当時横組・左横書が起きた理由として次の三点が考えられる。

①　「識字・掃盲運動」に必要であった。

②　中国語改革の一環であった。

③　共産党・政府の宣伝工作と政治運動が繰り返されたため，社会では「破旧立新（古いものを破壊し，新しいものを打ち立てる）」，つまり何でも新しいもののほうがいいと言う風潮が充満して，書式も免れぬ運命になった。

当時の中国人は全民参加の次から次へとの政治運動を通じてこのような全体主義的なやり方にも従わねばならぬと思うようになっていたので，横組・左横書に慣れるまでそれほど時間を要しなかったのである。

(2)　発音における影響と変化

1956年1月28日の国務院第23回会議で「国務院が普通話普及についての指示」が通過されてから，政府は直ちに全国範囲（一部の少数民族地域は除外）で普通話の普及を推進し

始めた。学校は重要視され，授業などの教育活動では普通話を使用しなければならなくなった。政府の呼びかけに応えて一部の小・中学校，及び高校では，「生徒がキャンパス内では普通話以外の方言使用は禁止」との校則を制定した（私が通っていた小学校もそうであった）。各クラスに一人か，二人の「推普員（普通話推進係）」を設けてある学校もあった（現在も変わっていない）。

ラジオ放送（テレビ放送は1958年からスタートしたが，70年代半ばまで各家庭にはテレビ受信機がほとんどなかった）も普通話推進の重要な役目を果たした。私の出身地である上海の放送局の放送は，毎日30分間の「対農村廣播」が上海方言使用の他に全部普通話であった。共産党と政府の強力な推進があったから，現在60代以下，学校教育を受けた中国人（一部少数民族は除外）はみな普通話（一部の人の発音は方言交じりかもしれない）を聴いて理解できるし，自ら喋ることもできる。

他に，「普通話正音字表」，「多音多義字匯編」，「普通話異読詞三次審音総表初稿」，「普通話軽声詞匯編」などの出版によって，多音字・多義字・異読詞・軽声詞の使用基準を設けた。教員・学生・アナウンサー・俳優，及び一般の人々が普通話を使用する時，その使用基準に従うようになり，そのことも言葉の規範化，普通話の普及に大いに役立った。

(3) 文字における影響と変化

1955年12月22日に「第一批異体字整理表」が発表され，それに整理された1,053字が実施日の翌年２月１日より全国の新聞・雑誌・公文書，新しくできた教科書などから姿を消した（すでに製版中のもの，刊行中のシリーズなど，特別扱い物は除外）。また計量単位を表す旧字体の20字，地名を記す非常用漢字15字も使用中止の通達を出された後，すぐ印刷物で使われなくなった。その影響で一般の人々も筆記文章に徐々にこれらの異体字・旧字体・非常用漢字を使わなくなり，現在一部の研究者などを除いてそれらの文字が分かる人はほとんどいない。

1956年１月28日に国務院第23回会議で可決した「漢字簡化方案」は政府の指示で，同年２月１日から三段階に分けて全国の印刷物・筆記文書で順次に適用された。1964年５月に公布した「簡化字総表」で101の繁体字が淘汰され，これで漢字の簡略化が一段落を遂げた。

「漢字簡化方案」や「簡化字総表」の公布によって1965年末頃になって全国の新聞・雑誌・公文書などの印刷物，ほとんどの店看板，一般人の筆記文書に一律に簡体字が使われるようになった。共産党・政府主導の漢字の整理・簡略化キャンペーンは中国国民の日常

生活に大きな変化をもたらした。

(4) 語彙における影響と変化

成立後から「文革」が始まるまで，共産党の政策・政治運動，また当時の政治情勢と国全体の雰囲気が，語彙の変化に特に強く影響していた。変化はこれまで，特に商売人，政府高官，インテリ層，富裕層などの間で広く使われてきた大部分の「敬辞」（敬う言葉）・「謙辞」（謙遜語）・「祝辞」（祝辞）・「客套語」（丁寧な言葉，挨拶言葉）・「婉辞」（婉曲な言葉）・「美称」（美化語）・「別称」（異称）などの言葉が次第に使用されなくなったり，或いは使用できなくなったりといった面と，政治情勢，政治運動，国全体の雰囲気に必要な言葉がたくさん生まれるといった面とから推進された。50年代に入ってから大陸の人々の交際の場で徐々に使用されなくなった「敬辞」などをここに少し示しておく。

①敬辞

拜—拜呈　拜辞　拜服　拜贺　拜领　拜望
宝—宝店　宝号　宝眷　宝庄
赐—赐复　赐稿　赐示　赐予
大—大稿　大号　大人　大儒　大札
奉—奉别　奉答　奉读　奉访　奉借　奉托
府—府邸　府上
高—高见　高就　高贤　高足
恭—恭候　恭听
贵—贵府　贵干　贵庚　贵舍　贵札
华—华诞　华府　华翰　华宗
惠—惠存　惠访　惠览　惠临
敬—敬承　敬候　敬聆　敬启　敬颂
令—令嫒　令堂　令尊
圣—圣哉　圣恩　圣见
台—台甫　台鉴　台启
贤—贤弟　贤郎　贤侄
用—用菜　用饭
尊—尊府　尊号　尊驾

②謙辞

卑—卑辞　卑府　卑意　卑职
鄙—鄙薄　鄙见　鄙人　鄙意
敝—敝处　敝店　敝稿　敝舍　敝姓
寒—寒门　寒舍

贱—贱名　贱内　贱姓
陋—陋见　陋身　陋室
舍—舍弟　舍眷　舍亲　舍下
小—小的　小号　小女　小人
愚—愚兄　愚见　愚下
拙—拙笔　拙技　拙见　拙荆　拙译
薄技　不才　粗室　管见　家父　谬见　内人　老朽　微职　兄弟　在下
③客套語
薄意　不成敬意　不敢拜问　不足介意　地主之谊　海涵　厚赐　敬谢不敏
久闻盛名　久仰　聊尽寸心　隆情厚谊　免礼　岂敢　屈驾　赏脸　失敬
死罪　万勿吝教　微礼　幸会　有劳　栽培
④祝辞
财源茂盛　长命富贵　春祺　多富多寿　龟龄　鹤寿　洪福齐天　美意延年
南山寿　如松如鹤　守身如玉　文祺　学安
⑤婉辞
暗渡陈仓　暴卒　步入黄泉　国殇　花月之身　忌辰　久安　泉下　如厕
未亡人　小解　谢世
⑥美称
并蒂良缘　东床　高足　鸿儒　龙驹　女中丈夫　麒麟子　千里驹　人杰
⑦別称
伯仲　不第　处子之身　待字　扶桑　赋闲　继配　临盆　男丁　内助
桑榆　堂上　下野

一部の「敬辞」は限定された範囲内しか使わなくなった。例えば「先生」,「女士」,「小姐」のような尊敬語は外国人，台湾・香港・マカオ人，有名で地位が高い中国人にしか使わなくなった。「先生」は60年代半ばまで中学校以上の教員を呼ぶ時にまだ使われていたが,「文革」が始まってから何故か一般教員に使いづらくなり，全部「老师」を使うようになった。「先生」,「女士」,「小姐」は90年代に入って再び一般人にも使いはじめ，一旦死語になった一部の「敬辞」・「謙辞」などもまた姿を見せた（後述）。

一部の「敬辞」は元来の敬う意とせず，皮肉・軽視・軽蔑などの意味で使われるようになった。例えば

① 少爷、小姐—这些少爷、小姐会干什么?

② 恭候—我们已经做好一切战斗准备，恭候敌人的到来。

③ 奉送—清朝政府竟然把大片领土奉送给了侵略者。

当時の政治情勢や社会状況に不相応な単語が淘汰され，またそれに相応させるために一

部の本来の「貶義詞」（けなす意味に用いる単語）が「褒義詞」（褒める意味に用いる単語）として使われるようになった。香坂順一氏編著の「中国語の単語の話―語彙の世界」(光生舘）にこれについて次の例が挙げてある。

貶義詞→褒義詞：泼辣　穷棒子　穷光蛋　大老粗　泥巴腿　煤黑子

褒義詞→貶義詞：清高　地主　资本家　财主　老板　少爷

現在「穷光蛋」は貶義詞，「老板」は褒義詞と考えてよい。「老爷」・「少爷」は現在も皮肉の意味で用いられることがある。

現代中国語は尊敬語・謙譲語・丁寧語が少ないと言われるが，これは全くの誤解で，これらの敬語が単にあまり使われていないだけである。「公共交際用語辞典」（許正元・王麗琴編著，中国青年出版社1995年）に敬辞1,118語，謙辞650語，客套語262語，祝辞224語，婉辞468語，美称329語，別称788語，合計3,839語が収められている。90年代に生まれた新語も含まれているが，ほとんど成立前にあった旧語である。これらの旧語は40年代でかなり使われていたが，60年代半ば頃になって，ほとんど使わなくなった。根強く定着していた言葉が10数年間で完全にと言えるほど人々の日常交際用語から姿を消したことは自然な言葉の変遷ではない。社会・文化の発展と言うより，人為的な要素がかなりあるからだと言える。ただし，共産党や政府がこれらの旧語使用禁止令を出したりすることはなかったから，この言葉の変貌には次のいくつかの理由が考えられる。

① 成立後まもなく共産党・政府に掌握された所謂「輿論工具」である新聞・雑誌・ラジオ放送，また公文書などが旧語をほとんど使わなかった。

② 1955年10月に決定した普通話は「…模範的な白話文の著作を文法規範とする…」と定義されていた。

③ 共産党は，「階級敵人」（地主・富農など）を除いた人々はみな同志で平等であると唱えたので，上下関係などはっきり表す「敬辞」・「謙辞」のような言葉は不必要になった。

④ 当時「革命」が盛んに唱えられた時期であり，前述した通り，何でも新しいもののほうが良いとの風潮があった。「敬辞」・「謙辞」などの旧語は封建主義的，資本主義的な言葉と見なされ，人々は自分が旧語を使ったら保守的，非革命的であると言われるのではないかと神経質になって，徐々に旧語を用いたくなくなった。

このように旧語が徐々に消える一方，当時の政治運動や社会状況に対応する時代色の極めて濃い新語，あるいは「旧語新用」（旧語を新用法で使うこと）の言葉がたくさん生まれた。例えば「同志」は旧語であるが，1950年代後半から中国人は互いに呼ぶ時に使うようになり，面識のない者（子供は除外）に使っても良いようになった。地主のレッテルを貼

られた人が「文革」中，駅で知らない人に「同志」と声をかけられて嬉しくて目から涙が溢れたとの話があった。新語・「旧語新用」の言葉には政治運動関連のものが特に多い。いくつか示しておく。

① 镇反　反动会道门　阶级成份　反攻大陆

② 抗美援朝　志愿军　阿妈妮

③ 三反　五反　守法　守法户　五毒

④ 军党论　肃反　四害

⑤ 反右　大鸣大放　大辩论　大字报　牛鬼蛇神　下放　摘帽

⑥ 总路线　大跃进　人民公社　生产小队（大队）　公共食堂　大炼钢铁　三面红旗　共产风　一平二调　一穷二白　一大二公　三大革命

⑦ 毛著　老三篇　忆苦思甜　两忆三查（忆阶级苦、民族恨、查立场、斗志、工作）　螺丝钉精神

⑧ 四清　社教　大庆精神　大寨精神

⑨ 修正主义　反修防修　和平演变

また政治制度の更新，経済建設などに関連するものもいくつか示しておく。

① 公私合营　定息　三线　三大改造　合作社　包产到户　生产责任制　责任田

② 军垦　治淮　三自（自治、自养、自传）运动　思想改造　劳动竞赛　劳卫制（准备劳动和卫国体育制度）　居委会　海外关系　奇装异服　爱人　简写　供给制

(5) 書面語

「五・四運動」から中国語の書面語は次第に「白話文」に変えていたが，1940年代後半の時点では口語とはまだかなりの違いがあった。特に旧語を多く使われる公文書・手紙・招待状などは1966年頃の書面語とは，その違いがもっと大きかった。ここに張香飛氏が1948年3月16日に魯迅の妻許広平氏へ送った手紙を一通転載しておく。

广平先生道鉴：

久钦有道，良睹缘悭。日昨内山完造先生返国时因渠行动不便，曾嘱代为趋候，在匆促中将先生住址遗失，致未果行。今接来函谓：曾上函先生，拟请准予在日翻译鲁迅先生全集，希去函证明俾便着手云云，不知收阅否？渠久未见先生去信，殊为悬念，敬希惠赐数行以便转告。专此奉恳，即颂

勋安

后学张香飞再拜

〔一九四八年〕三月十六日

賜示请交

“乍浦路二〇三号资料供应部”即可收到。

附来函一阅

成立後，共産党系の新聞・雑誌，また公文書などでは当時の口語にかなり近い書面語を使用し始め，学校教育の場でも，一般の国民の間でもその傾向は強まった。その結果60年代の初頭には書面語と口語の違いは一部の語彙を除いてすでに見られなくなっていた。

(6) 中国語を大変貌させることができた理由とその結果のメリットとデメリット

成立前当時の政府及び関係する知識人は，中国語の語音の統一，表音化など，所謂「国語運動」に関して多くの仕事を行ってきた。また一部の知識人は漢字の簡略化にも心血を注いだ。しかし当時諸般の事情から，徹底的かつ大規模に「国語運動」を行うことができなかった。だが成立後状況が一変し，共産党と政府は中国語改革に積極的に乗り出し，反対意見を抑えて言語改革政策と改革案の実施を全国隅々まで徹底的に押し広めた。言語改革は当時の全国民の教育水準を高める（「識字・掃盲運動」はその一環である）のに必要であるばかりでなく共産党の政策を徹底させ、経済体制の抜本的改造を実行する上で必要であった。中国は一党独裁の体制であり，共産党は中央政府機関から都市・農村部の末端機関まで組織が置かれ，強力なネットワークが敷かれている。その上60年代半ば頃は全体主義がすでに国民に浸透していたから，共産党中央や政府から何らかの指示・命令を出されると，直ちに全国が一斉に動き出した。また当時のほとんどの国民は，教育を含むすべての分野において「破旧立新」を実行してこそ，はじめて革命であるとの認識を有していた。

以上のような要素があったからこそ，共産党と政府主導の標準語の制定，文字簡略化，表音化などの大規模な言語改革が短時間で成功し，短時間で語彙・書式などに強く影響して，中国語を大変貌させることが可能になったのである。

大変貌した60年代半ばの中国語は，共産党・政府の指示・命令によって変えられたところが多かった。人口が多く，数億の非識字者を抱えているなど，当時の複雑な状態に置かれている中国では，強引とも言えるこのようなやり方はやむを得なく，さもなければ言語改革は中途半端に終わりかねなかったと思う。やり方は別にして，その結果は何と言っても中国と一般の国民にとってメリットがデメリットより多かったと言える。

メリットとしては次が挙げられる。

① 印刷物の横組，漢字簡略化などは「識字・掃盲運動」，学校教育を大いに手助けした。

② 横組・左横書変更によって，文章が読みやすく，書きやすくなった。

③ 普通話の制定，普及によって方言による障害は除かれた。

④ 異読字・多音字・多義字などの統廃合によって人々は識別の煩わしさから解放された。

⑤ 「漢語拼音方案」の制定と推進によって，外国人が中国語を大変勉強しやすくなり，「対外漢語教学」の発展を大いに促進した。

⑥ 一部の旧語廃止によって尊・卑関係を考えずどの場合でも「同志」が使えて，非常に便利になった。

⑦ 教育現場，日常交際の場で漢字に関する間違いが著しく減った。

ただし当時は「学校教育・新聞・雑誌などで簡体字しか使用しなくなれば，人々が繁体字使用の本が読めなくなり，国語の低下につながるのではないか」，「漢字が簡略化され，象形文字である漢字本来の美しい姿が消されることによって，伝統文化が破壊されるのではないか」との心配の声があった。また「敬辞」・「謙辞」などの日常交際用語の不使用によって，「その場での自分の気持ちが充分に表せない」，「上下関係，尊卑関係がおかしくなり，社会通念に反する」，「それぞれの場合で人にどう挨拶したら良いか分からなくなり，言語表現が乏しくなった」，「礼儀不要につながり，言葉遣いが粗野になりかねない」などの声もあがった。日常交際での一部の旧語不使用が，成立後に礼義無視，礼儀知らずの中国人が段々増えた一つの原因ではなかろうか。

第2章 「文革」発生から改革開放開始まで

（1966年5月～1978年11月）

1966年5月16日，中国共産党中央委員会政治局拡大会議で「中国共産党中央委員会通知」，略称「五・一六通知」が通過し，10年余り（1976年10月まで）にわたる全国民参加の，中国歴史上未曾有の大規模な政治運動が始まった。成立後，毛沢東の極左思想が繰り返された政治運動によって次第に共産党の中枢を支配してしまい，「文革」の発動がその頂点に達した結果である。「文革」中，成立後からの国のほとんどの政策・方針・やり方は「封・資・修」であると批判され，中国国民は無法な大混乱のどん底に陥った。

「文革」進行と同時に「批林批孔（林彪・孔子を批判する）運動」，「文革」終了後「批『四人幇』運動」も行われた。

「文革」の10年間とその後の約2年間で，言葉の面で主に語彙に影響を与えた（1977年

「第二次漢字簡化方案（草案）」が公布されたが，それに関して第1章第1節(3)の④，漢字の簡略化を参照)。成立後残った数少ない「敬辞」・「謙辞」などは「文革」が始まってから使わなくなったり，或いは使えなくなったりした。例えば江南地区では「文革」前，「先生」は教員に対する他に隣近所の成人男性を敬う気持ちで，また「师母」は隣近所の既婚の女性を敬う気持ちでまだ呼称に使われていたが，「文革」開始後何故か（多分「封・資・修」の恐れがあるから）使われなくなった。他に例えば「拜读、拜会、大家、恩师、奉陪、奉送、高龄、贵处、师长、师兄、洗尘、雅兴、尊师、尊姓」などの「敬辞」，「薄技、愧不敢当、力薄才疏、区区」などの「謙辞」も日常交際（手紙など）から消えた。当時これらの旧語を用いつづけられない，「文革」前よりも強い極左の風潮が隅々まで充満した社会になったからである。

それに対して「文革」時代の色彩が濃い語彙が多く生まれた。例えば「造反派、红卫兵、破四旧立四新、大串联、文攻武卫、武斗、斗私批修、最高指示、工宣队、复课闹革命、支左、三支两军、上山下乡、插队落户、工农兵学员、上管改、批林批孔、赤脚医生、五・七干校、抓革命促生产、反潮流、臭老九」などがある。私は「漢語新詞詞典」（王均熙編著，漢語大辞典出版社1993年）と「漢語新詞語詞典」（李仁達他編著，商務印書館1993年）を調べたところ，「文革」中に生まれた新語や「旧語新用」の語彙はそれぞれの詞典中100個以上収められていることが分かった。これらの当時の新語は現在人々の日常交際ではほとんど使われていないが，文学作品・映画などにまだ時々姿を現す。

「文革」終了後の「批『四人幇』運動」などにおいても「四人帮、拨乱反正、冤假错案、精神万能、两个凡是、伤痕文学」などの新語や「旧語新用」の語彙が生まれた。

第3章　改革開放開始から20世紀末まで

（1978年12月～2000年12月）

第1節　改革開放について

1978年12月18日から22日まで，中国共産党は北京で第11期全国代表大会第3回全体会議を開催した。会議で共産党の工作重点を従来の「階級闘争」，「連続革命」から「社会主義近代化建設」へと大転換させ，改革開放をスタートさせた。共産党中央と政府は一連の新しい政策・指針を打ち出し，大々的に宣伝して，改革開放は経済分野を始め，政治・思想・文化・教育など全ての分野で繰り広げられた。改革開放は「文革」と違い，中国の国力を増強し，国民にいろいろな実益をもたらすが，規模・展開方法を見れば，やはり一種の

これまでの政治運動と少し異なる政治運動であると言わざるを得ない。

1978年12月から22年間繰り広げられていた改革開放は言葉の面で主に語彙に大きな変化をもたらした。(1)一部の「敬辞」・「謙辞」などの旧語句の復活，(2)大量の新語句（一般語句・株関連語句・IT関連語句・アルファベット略語）の出現，である。

第2節　一部旧語句の復活

改革開放後，特に80年代後半に入ってから台湾・香港・マカオとの経済・政治・文化・宗教などの交流が急速に拡大したことによって，成立後の中国本土で姿を消した一部の「敬辞」・「謙辞」などが復活した。例えば90年代に入ってから一般の人を呼ぶ時に「同志」を使いづらくなり，「先生」・「小姐」が復活した。「文革」の反動のせいか，現在男性を「先生」，女性を「小姐」と対象を問わず乱発する現象が見られる。封筒の宛名の後の「同志」も消え，「先生」・「女士」・「小姐」を使うようになった。ビジネス商談，手紙・招待状などにも「拝读、拝会、奉陪、奉送、贵（公司）、光临、洗尘、高就、雅兴、近祺、俪安、赏光、屈尊、老板、老板娘、尊姓大名、力薄才疏」などの旧語が現れた。成立後使われなくなった「保镖、夜总会、沙龙、舞女、嫖娼、探长」などがまた復活した。「旧語新用」は「老总、出血、影帝、策划、富豪」などが挙げられる。

第3節　新語句の出現

改革開放後の社会現状を反映させるために，大量の新語句が現れ，政治・経済・文化・教育・法律・日常生活など，社会全ての面で新語句の出現が見られた。これらの新語句は次のいくつかの類に分けられる。

(1)　台湾・香港地区の方言からのもの

按揭　大哥大　买单　大排挡　碟影机　蛇头　人蛇　洗手间　写字楼　休闲　跳楼价　海鲜　封镜

(2)　英語（音訳・意訳・音＋意訳）・日本語などの外国語からのもの

①　英語から

的士　克力架　克隆　比基尼　迪斯科　迷你　麦当劳　镭射

②　日本語から

人气　空港　写真　通勤　放送　特许　低迷　物流　居酒屋

(3)　90年代後半から株とパソコンブームの興起によって株とIT関連の新語句が続々と生まれた。

① 株関連のもの

炒作　股海　股市　股指　牛市　熊市　退市　反弾　套牢　大盘　开盘　收盘　创业板　庄家

② IT関連のもの

因特网　联网　网址　网页　网吧　网虫　伊妹儿　菜单　千年虫　地址簿　黑客　软件　硬件　下载　鼠标器　拖动　多媒体　数字（的）　模拟（的）　视窗

(4) 改革開放前，あまり見られなかったアルファベット略語が新聞・雑誌・公文書・日常交際に多用されるようになった。例えば

VC（venture capital，风险投资）　LP(limited partnership，有限性伙伴公司）　CBD(center business district，商务中心区）　DJ（disc jockey，节目主持人）　HSK（hanyu shuiping kaoshi，汉语水平考试）　CD　CD-ROM　DVD　VCD　IT　E-mail　CT　WTO　PCTV（个人电脑电视）　IP电话　IP卡　卡拉OK

などが挙げられる。

第4節　語彙変化と改革開放との関係

統計によれば改革開放後の1980年以降，年平均500ぐらいの新語句（復活した旧語，「旧語新用」の語彙が含まれる）が生まれた。これは改革開放によって社会・文化・経済・科学技術の発展，人々の意識の変革，国際交流の増加などに対応するために現れた現象で，共産党・政府に人為的に操作された結果ではない。ただし歴史の流れの中で決して長くはない20年の間，こんなに大量の新語句が生まれたのは，改革開放によるものである。つまりは政治運動に強く影響された結果であると言えよう。

おわりに

社会変化に対応して言葉が自然に変わっていくのは一般的である。成立後の中国語の変化は一般的，自然的なものではないことは上述で理解されたと思うが，中国語の変化はわれわれにとってマイナス・プラスの両面があり，一概に肯定，或いは否定してはならない。いずれにせよ，成立後の中国語の変貌は中国語の変遷・発展の長い流れの中で，際立つ1ページとして残るであろう。

参考資料

一．日本語資料

1．「中国語の単語の話―語彙の世界」香坂順一著（光生舘）

2．「新しい中国語・古い中国語」芝田稔・鳥井克之著（光生舘）

3．「中国語学新辞典」中国語学研究会編（光生舘）

4．「現代中国語新語新釈」香坂順一著（光生舘）

5．「現代中国漢字学講義」張静賢著，松岡栄志監訳（三省堂）

二．中国語資料

1．「新中国大博覧」李默主編（広東旅遊出版社）

2．「党的十一届三中全会以来新名詞術語詞典」張首吉・楊源新・孫志武・衛愛輝著（済南出版社）

3．「現代漢語新詞語詞典・1978～2000」林倫倫・朱永鍇・顧向欣編著（花城出版社）

4．「中国報刊辞典」・1815～1949」王桧林・朱漢国主編（書海出版社）

5．「国情教育手冊」伍傑主編（華夏出版社）

6．「公共交際用語詞典」許正元・王麗琴編著（中国青年出版社）

7．「魯迅・許広平所蔵書信選」周海嬰編（湖南南芸出版社）